

# トンネルサミット

湊川隧道一般公開20周年記念 **11月** ひょうご

令和3年11月21日(日)13:00~16:30  
神戸アートビレッジセンター 主催:兵庫県神戸県民センター神戸土木事務所  
共催:湊川隧道保存友の会



## 基調講演 | 講演者

### 田辺真人 氏

園田学園女子大学名誉教授・兵庫県史編纂委員

兵庫県阪神シニアカレッジ学長、県立兵庫津ミュージアム名誉館長(予定者)。兵庫県文化賞、神戸市文化賞、宝塚市市民文化賞、文部科学大臣表彰、放送文化基金賞などを受ける。ラジオ関西「田辺真人のまっこと!ラジオ」などに出演。著書・監修に「神戸の伝説」「宝塚市大事典」ほか多数。



## トンネルサミット | コーディネーター

### 松原永季 氏

有限会社スタジオ・カタリスト代表取締役

一級建築士。建築設計とともに、密集市街地再生、小規模集落再生、市民・行政の協働、景観形成等について、住民の主体的活動を支援する立場から、取組みを重ねている。平成26年関西まちづくり賞、日本都市計画学会賞(計画設計賞)受賞。



## トンネルサミット | パネリスト

### 1 村上真善 氏

NPO法人愛岐トンネル群保存再生委員会



地域情報誌を発行するかたわら商店街専務理事として「'06全国商店街サミット春日井大会」を実施。ワンコインコンサートや狂言・落語などをお寺や古民家で開催。愛岐トンネル群を自ら発見し、再生に向けた活動を行っている。

### 2 藤尾賢介 氏

明延鉱山ガイドクラブ



1949年、兵庫県養父市大屋町明延生まれ。2007年、「鉱石の道」明延実行員会主催の産業遺産ボランティアガイド養成講座を受講し、明延鉱山探検坑道のガイドを始める。NPO法人一円電車あけのべ理事長。姫路市在住。

### 3 河野義知 氏

愛媛県立新居浜南高等学校ユネスコ部



平成9年より現任教へ勤務。専門教科は工業科(電気・電子・情報)。平成11年度より部活動において別子銅山学習を開始、平成28年度より学校設定科目「にはいま学」を創設し、別子銅山学習をカリキュラム化。

### 4 田口由加子 氏

NPO法人神岡・町づくりネットワーク



飛騨市神岡町にUターン後、ルールマウンテンバイクのオープニングスタッフとして、(一社)飛騨市観光協会の事業専属職員となる。その後、事業移管とともにNPOの職員となる。

### 5 前畑温子 氏

湊川隧道保存友の会



産業遺産写真家として全国の産業遺産を記録、活用を行う。2015年からは湊川隧道保存友の会 幹事となり、HP等を担当する。湊川隧道部部长、NPO法人J-heritage 戦略企画室室長としても活動。

### 6 花田欣也 氏

総務省地域力創造アドバイザー



長らく大手旅行会社に勤務し、総務省関係団体(一財)地域活性化センターで課長を務めた。ライフワークとして地域の産業遺産・トンネルの執筆活動やメディア情報発信のほか、各地でトンネルツアーの講師も務めている。

## プログラム

### ◆第1部(13:00-14:20)

#### 1 一般公開20周年記念式典

- ◇ 一般公開20周年記念動画の上映
- ◇ 開催の挨拶 兵庫県神戸県民センター長 西躰 和美
- ◇ 経過報告 兵庫県神戸県民センター神戸土木事務所長 八木下 徹
- ◇ 祝辞 神戸市兵庫区役所区長 岡本 康憲
- ◇ 挨拶 湊川隧道保存友の会会長 渡邊 保

#### 2 基調講演「オリンピックと湊川の付け替え」

講演者：田辺真人 氏(園田学園女子大学名誉教授・兵庫県史編纂委員)

<別冊：講演者配付資料>

『兵庫・神戸と日本最初のマラソン大会』

(『神戸レガッタ・アンド・アスレチック倶楽部150年史』(2021年)抜刷)

### ◆第2部(14:30-16:30)

#### ◇トンネルサミット「地域の宝とするために」

コーディネーター 松原永季氏 (有限会社スタジオ・カタリスト)

パネリスト

- 村上真善 氏 (NPO法人愛岐トンネル群保存再生委員会) . . . P 2
- 藤尾賢介 氏 (明延鉦山ガイドクラブ) . . . P 3
- 河野義知 氏 (愛媛県立新居浜南高等学校ユネスコ部) . . . P 4
- 田口由加子 氏 (NPO法人神岡・町づくりネットワークレールマウンテンパイク事務局) . . . P 5
- 前畑温子 氏 (湊川隧道保存友の会) . . . P 6
- 花田欣也 氏 (総務省地域活力創造アドバイザー) . . . P 7

◇閉会の挨拶(兵庫県神戸県民センター神戸土木事務所長 八木下 徹)

◇湊川隧道資料集(あゆみ、フォトコンテスト入賞作品、マップ) . . . P 8

# NPO 法人 愛岐トンネル群保存再生委員会

所在地 愛知県春日井市玉野町 1 6 6 0 - 1  
代表者 理事長 村上 真善  
設立年度 2007 年 (平成 19 年)  
URL <https://aigi-tunnel.org/>

会員数 6 7 名  
TEL 090-4860-4664  
E-Mail [muramasa@mc.ccnw.ne.jp](mailto:muramasa@mc.ccnw.ne.jp)

## 1. 施設概要と設立趣旨 (目的)

1900 年、旧国鉄中央本線が多治見市一名古屋間に開通し、その後に塩尻まで延伸した。その時、春日井一多治見間の約 8 Km の区間に全国でも珍しく 14 基 (現存 13 基) ものトンネルが造られた。1961 年に新線開通により廃線になったが、庄内川沿いの曲がりくねった急峻な崖の途中にある軌道敷は、2006 年に市民により発見されるまで人々の記憶から消え去っていた。この貴重な近代化産業遺産を再生させようと当会が発足、発見時のレールや枕木の撤去された廃線跡には獣道もなく、半世紀にわたる放置により生茂った樹木や藪に覆われ、5 人で 1 日 5 m 開伐するのがやっとであった。再生に伴い、年 2 回 2 週間限定の特別公開の他、コンサート・ロケ地・ギャラリー・日食観望会、最近ではトンネルを利用したビアホール営業など思いつく限りの各種多様な取り組みを実施している。この鉄道遺産群を有効的に利活用することで地域の新たな観光資源として賢明な再生を目指している。



## 2. 沿革

獣も通れない廃線の開拓を始めるとともに、施設群の歴史や概要調査を開始。現存する明治期のレンガ製隧道としては国内最多級の規模であることが判明。民間所有地であった愛知県側 16ha の廃線跡を市民の浄財で買取るため、2009 年に愛知県下初の「ナショナルトラスト運動」を開始し買取が実現。

2009 年 経済産業省の「近代化産業遺産 続 33」選定。2011 年 国土交通省「手づくり郷土賞」認定。2012 年 全国トンネルサミット開催。2016 年 国・登録有形文化財に認定。

## 3. 活動内容

- ・当会発足以来、毎年春・秋の特別公開 (計 2 週間程度) の実施。他に随時イベント開催。
- ・お盆正月を除く通年の毎週木・土曜に現地施設に会員が集まり、施設群の階段修復などの維持、廃線敷の草刈りなどの管理作業を実施。
- ・毎月第三土曜の定例会や理事会を開催。
- ・先進地視察会 (毎年 1 か所を選定し、視察研修を実施)
- ・群馬・碓氷峠、滋賀福井・北陸線とともに「日本三大廃線トンネル群」の呼称を創出し、トンネルカードを発行



## 4. 課題と展望

約 8km の廃線跡は愛知・岐阜県にまたがり、地権者も民間・地元自治体・JR と混在し、現在のあり方についても思惑も異なる。共通の意思形成が難しく、連携もなく遺産群の開発に躊躇するなか、当面は市民力に依存せざるを得ない状況。これらの廃線に隣接する既存の JR 駅間 3.5 キロを、電車に乗らず廃線を歩いてつなぐ「駅間フットパス (通り抜け) 構想」を提唱し、行政圏を超えた“広域の新たな観光資源”として地域全体での再利用・活用を呼びかけている。近年、行政財源の不足により、公金に頼らず自立できる施設群として運営の自主財源を創出する努力が必要。会員や地元業者とモミジサイダーや汽車土瓶の復刻販売を行う等、地域産業と連携を深めながら“よみがえったトンネル群を核とした地域活性化”を目指す。今後はこの近代化産業遺産群と自生する生物相の美しい自然環境を柱に、100 年先の未来に引き継ぐための工夫と知恵を結集していく。

# 明延鉱山ガイドクラブ

所在地	養父市大屋町明延 1184 あけのべ自然学校内	会員数	10名
代表者	会長 藤尾賢介	TEL	079-668-0258
設立年度	2008年(平成20年)	E-Mail	kazuyuki_takata@city.yabu.lg.jp
URL	http://www.akenobe-kozan.com		

## 1. 施設概要と設立趣旨

明延鉱山探検坑道(以下「探検坑道」という。)は、明延鉱山(1987年閉山)の坑道の一部を明延鉱業株式会社(当時)が青少年の鉱山学習施設として整備し、1989年(平成元)にオープンしました。

探検坑道の延長は約650m。坑内には閉山まで使用していた大寿立坑跡、車両系鉱山機械、削岩機、2ト蓄電池機関車、1ト鉱車など、多数展示し、操業当時のままの姿を残しています。

明延鉱山は、兵庫県養父市大屋町明延に位置し、日本一の錫鉱山でした。奈良・東大寺の大仏鑄造にも明延鉱山産出の銅が献上されたといういい伝えもあります。

明延鉱山ガイドクラブは、明延鉱山の歴史や文化、産業遺産などを学習し、その魅力を紹介していくことで、日本の鉱山が果たしてきた役割を次代へ伝え、地域の発展に寄与することを目的にしたボランティア団体です。



## 2. 沿革

探検坑道のオープン時の案内は、鉱山OBが担ってきました。しかし、閉山後20年を経て、ガイドの高齢化等により、ガイドの確保が困難となってきたため、新しいガイドの育成が課題でした。

あけのべ自然学校は、2006年(平成18)から兵庫県の支援を得て、産業遺産ガイド養成講座を開催しました。会社員や主婦などにも広く呼びかけてガイド養成講座をこれまでに6回開催し、23人が受講しました。

2008年(平成20)7月18日にガイド養成講座修生で「明延鉱山ガイドクラブ」を発足しました。

現在、10名(男性7名、女性3名)が登録し、鉱山の歴史や仕事、役割などを青少年や観光客に案内しています。

## 3. 活動内容

2009年(平成21)に財団法人ひょうごツーリズム協会が主催した第2回ひょうご観光ボランティア発表会において、藤尾会長が「奨励賞」、「魅力あるツーリズム賞」を受賞しました。

2011年(平成23)4月からは、一円電車体験乗車会に合わせて、探検坑道見学会を開催しています。また、2015年(平成27)4月からは、4月～10月までの間、毎日曜日に事前予約なしで、坑道見学ができる「日曜見学会」を開催しています。

このほか、自主研修会、他鉱山の視察、ボランティアガイド交流会等への参加など、ガイドの資質向上に努めています。

2019年(令和元)実績で、ガイド件数539件、見学者は5,598人となっています。



## 4. 課題と展望

探検坑道は、鉱山操業当時の様子を出来る限り、残しています。そのため、施設管理をしている養父市は、坑道の維持管理のため、毎年約320万円の経費を要し、数年に一度は、大規模な修繕をしています。

この坑道は、他鉱山のように人形や音声ガイド、特殊演出などはされておらず、立ち入り禁止区域もあることから、必ずガイドが付いて案内するシステムとなっています。このため、ガイドの果たす役割は大きく、ガイドの能力次第でお客様の評価は大きく変わります。今後も研修等を通じて、ガイドの資質向上と確保が課題です。

国内の鉱山が無くなるなか、一般公開された坑道は貴重です。ガイドは、日本の近代化のため鉱山が果たしてきた役割を次代に伝えていくための重要な役割があります。

# 愛媛県立新居浜南高等学校ユネスコ部

所在地	愛媛県新居浜市篠場町1番32号	会員数	2名
代表者	部顧問 河野 義知	TEL	0897-43-6191
設立年度	平成9年4月(旧情報科学部)	E-Mail	kouno_yoshi6@yahoo.co.jp
URL	<a href="http://www.besshi.net/Facebook/facebook-menu.html">http://www.besshi.net/Facebook/facebook-menu.html</a>		

## 1. 施設概要と設立趣旨(目的)

愛媛県新居浜市は人口約12万人、瀬戸内海と四国山地に囲まれた温暖な地域で、四国最大級の工業都市です。その基礎をつくったのが別子銅山です。日本三大銅山の一つにも数えられ、かつて世界一の産銅量を誇った283年の歴史を持つ銅山です。

ユネスコ部の前身である情報科学部は、学校を広くアピールしようと学校紹介のホームページ作成を行っていました。その内容充実するため、平成11年(1999)から高校生のまち学習として、別子銅山の近代化産業遺産について調査・研究を開始しました。

平成22年(2010)その活動が四国初のユネスコスクールとして認められ、翌年にユネスコ部として改称し現在に至っています。

## 2. 沿革

- 平成14年 NEC マルチメディアアート大賞文部科学大臣奨励賞受賞(全国1位)
- 平成19年第8回インターネット活用教育実践コンクール経済産業大臣賞受賞
- 平成21年第1回高校生観光プランコンテスト「観光甲子園」準グランプリ
- 平成24年第2回ESD国際交流プログラム(ドイツ・フランス派遣)ユネスコ本部(パリ)で発表
- 平成29年未来をつくる若者・オブ・ザ・イヤー内閣府特命担当大臣表彰(内閣府)、第7回ESD国際交流プログラム(インドネシア派遣)
- 平成31年第9回ESD国際交流プログラム(ドイツ・フランス派遣)ユネスコ本部で2度目の発表
- 令和元年度第6回高校生スタディツアー(カンボジア派遣)



別子銅山 東平地区での観光ガイドの様子

## 3. 活動内容

- 学習成果をインターネットで情報発信
- 別子銅山 近代化産業遺産ガイドブックの制作
- 鉱山体験者の取材、ビデオ映像として記録する「語り部アーカイブ」活動『銅山人の詩』
- 小中学生を対象とした「ふるさと学習」出前授業
- 別子銅山の観光ボランティアガイド
- 平成31年国の天然記念物指定「銅山峰のツガザクラ群落」の保護活動等

## 4. 課題と展望

部員の減少と部顧問の引継ぎができておらず、持続可能な活動が課題となっています。

平成30年度より、地域共創系列が創設され、別子銅山の近代化産業遺産をテーマとしてまちづくりを学ぶカリキュラムがスタートしました。

今後は、ユネスコ部と地域共創系列が二人三脚となり、校内外の連携を広げ、深めながらふるさとの学びを次代へ繋いで行きたいと思います。

# NPO 法人 神岡・町づくりネットワーク

所在地 岐阜県飛騨市神岡町東雲 1327-2  
代表者 理事長 鈴木 進悟  
設立年度 平成 14 年（事業移管は平成 23 年）  
URL <https://rail-mtb.com/about/npo/>

会員数 116 名  
TEL 090-7020-5852  
E-Mail [info@rail-mtb.com](mailto:info@rail-mtb.com)

## 1. 施設概要と設立趣旨（目的）

旧神岡鉄道は昭和 41 年に国鉄神岡線として開通し、昭和 57 年に第 3 セクター神岡鉄道株式会社として再発足、その後平成 18 年 12 月に廃線となりました。

始発は富山県の高山本線猪谷駅から、岐阜県飛騨市神岡町の奥飛騨温泉口駅を終着とする、全線で 19.9 km の軌道。その 6 割がトンネルであるため、「奥飛騨の地下鉄」としてファンに親しまれた路線です。ですが、営業収益の約 9 割を占める貨物輸送がトラック輸送へと切り替わり、ひっそりとその使命を終えました。

廃線後の鉄道遺構を「限りなくそのままの形」で残そうと、当時の神岡鉄道協力会（有志のボランティア団体）がアイデアを募り、「レールマウンテンバイク」を開発、廃線の翌年から（一社）飛騨市観光協会で事業を発足。平成 26 年に現在の NPO 法人神岡・町づくりネットワークに事業母体を移管し、現在に至ります。（ちなみに、トンネルはごく普通のコンクリート製です。）



## 2. 沿革

- ・平成 18 年 12 月 1 日、神岡鉄道廃線。
- ・平成 19 年 飛騨市観光協会にて GW 等の体験乗車会を開催する。以降、毎年営業日を拡大。
- ・平成 23 年 飛騨市観光協会から現 NPO へ事業移管される。
- ・平成 24 年 4 月～11 月の（定休日を除く）毎日営業を始める。
- ・平成 30 年 4 月 21 日、溪谷コースを新設。
- ・平成 24 年 日本鉄道賞特別賞。
- ・平成 26 年 JTB 交流文化賞最優秀賞。
- ・平成 28 年 産業観光まちづくり大賞金賞。

## 3. 活動内容

市販の電動アシスト自転車にオリジナルフレームを取り付けた、線路の上を走る「レールマウンテンバイク（通称ガッタングー!!）」を運営しています。廃線の翌年からイベント的な運行を始めましたが、平成 24 年からは（定休日と冬季を除く）平日も含めた毎日の運行を始めました。

開業当初は「目くるめく！田舎町の日常と非日常」がテーマのまちなかコースで実績を積み、2018 年からは「絶景か絶叫かはあなた次第!?ほとんどジャングル」の溪谷コースの運行も始めました。

また、平成 30 年にはトンネル内のイルミネーション企画「トンネルリエ」を地元の飛騨神岡高校に開発していただきました。



▲新設の溪谷コースの鉄橋



▶トンネルリエ

## 4. 課題と展望

私たちの夢は、「旧神岡鉄道全線の利活用」…なのですが、前述の「全線の 6 割を占める」トンネルの利活用への調査・補修費用の捻出が当面の課題です。事業を運営するにあたり、現行路線の枕木や沿線整備（主に草刈り）だけでも、ほぼ手一杯。それに加えて、トンネルや橋梁のメンテナンスまでを事業収益から当て込むのは不可能に近く、そもそも廃線後の鉄道構造物に対するメンテナンス基準が無いいため、鉄道遺構の所有者である飛騨市主導の保守管理となっています。現状では、「ふるさと納税」制度等を活用した費用の確保をしています。（現在の難関は、延長 2, 6 km のトンネルの調査・補修です）

# 湊川隧道保存友の会

所在地 兵庫県神戸市兵庫区湊川町9丁目3-1  
代表者 会長 渡邊 保  
設立年度 平成13年  
URL <http://www.minatogawa-zuido.com/>

会員数 正会員 39名、賛助会員 33名  
TEL 090-5255-6288  
E-Mail [info@minatogawa-zuido.com](mailto:info@minatogawa-zuido.com)

## 1. 施設概要と設立趣旨（目的）

「湊川隧道（会下山トンネル）」は日本初の近代河川トンネルとして、明治34（1901）年に完成しました。築造当時の延長は600m、断面は馬蹄型で内空の高さ7.6m、幅7.3m、側壁部の煉瓦は「イギリス積み」、アーチ部は「長手積み」で、当時としては世界最大級の大きさでした。底部（インバート）は六甲山から流れ出す土砂による摩耗と洗堀を防ぐため煉瓦を基礎にして花崗岩を敷き詰めています。坑門の上流側は古典様式、下流側はゴシック様式、扁額は小松宮彰仁親王による「湊川」「天長地久」で、琵琶湖疏水の坑門にも勝るとも劣らない立派な意匠でした。



平成7（1995）年、阪神・淡路大震災により隧道の一部と上下流の河川が被災したため、新湊川災害復旧事業により、新湊川トンネルが完成しました。このため、湊川隧道は河川としての役目を終えましたが、「会下山トンネル保存検討委員会」（平成12年）の答申を受け、近代土木遺産としての価値が評価されて保存することが決まりました。

「湊川隧道保存友の会」は、保存が決まった湊川隧道を、地域、学識者、行政が一体になって保存活動を行うことを目的に平成13年7月に発足しました。会の規約には、「神戸を代表する近代土木遺産としての湊川隧道の保存を願う県民・市民で組織し、隧道の保存・公開に関するボランティア活動や研修とその支援を行う事を目的とする。」とありますが、地域、商店街とも連携し、保存活動を通じて、地域社会の活性化と発展に寄与することを目的としています。

## 2. 沿革

- 平成12年 新湊川トンネル完成（湊川隧道は河川の役目を終える）
- 平成13年 「湊川隧道保存友の会」発足。
- 平成20年 国土交通省大臣表彰「手づくり郷土賞」受賞。
- 平成23年 兵庫県「くすのき賞」受賞。
- 平成23年 土木学会「選奨土木遺産」認定。
- 平成31年 国登録有形文化財に登録。

## 3. 活動内容

発足当時は、総会時の講演会と機関紙「天長地久」の発行、学習会や不定期の見学会などを活動内容としていましたが、平成18年度から神戸土木事務所から定期一般公開事業を受託し、毎月1回（第三土曜日）の一般公開とミニコンサートの開催をはじめ、「土木の日」（11月）にちなんだ新湊川ウォーク～湊川隧道通り抜け～、1月の‘1.17 希望の灯り’では竹灯籠を並べて震災犠牲者の追悼をしています。また、神戸まつりでのブース展示、‘地域の宝 湊川隧道’をテーマにしたフォトコンテスト、地元の‘新湊川まつり’に協賛したスタンプラリー、‘大声大会’など、友の会独自の行事も行っています。さらに、近年では、



県、地元企業と連携し、隧道内に日本酒を貯蔵する試み（売上の一部は友の会の活動財源）も行っています。こうした活動はホームページでPRし、レポートすることや、来場者の皆さんによるSNS発信効果などもあり、県内外から毎月150～200名もの見学者があります。ミニコンサートは既に136回を数え、ミニコンサート来場者数も22,597人に達しました。（令和3年9月現在）



## 4. 課題と展望

このように来場者は増えてきましたが、友の会の会員増に繋がっていないことや、活動を担うスタッフ不足、高齢化が課題になっています。一方、知名度の増加に比例して、ただ単に保存のためだけの活動から「利活用」（観光資源として活かすこと、隧道空間を営利目的に使用することなど）目的のニーズにどう対応するのかといったことも課題になりつつあります。これらは、管理者である兵庫県が河川管理施設としての湊川隧道を今後どのように活用するかによりますが、友の会としては、これまでどおり、地道な保存活動を通じて、湊川隧道の価値、すばらしさを出来るだけたくさんの方々に理解していただけるよう役員幹事が一体となった取り組みが必要と考えています。



# 花田 欣也 氏（総務省地域力創造アドバイザー）

役職等 総務省地域力創造アドバイザー・（一社）トンネル専門工事業協会アドバイザー

住所 東京都大田区

公式HP <https://hanadakin-chiikitnl.grupo.jp/>

## 1. 活動に至った経緯

大手旅行会社に勤務する傍ら、JR 全線に乗車した根っからの鉄道ファン。一方で、貴重な産業遺産・トンネルの魅力にハマリ、探究し実際に訪ね歩くことをライフワークにし、勤務先と連携して2018年にトンネルツアーを開始。その後、テレビ「マツコの知らない世界～トンネルの世界」にゲスト出演、計3回放映され、その他「おはよう朝日です」など多くのメディアに取り上げられている。（一社）埼玉県物産観光協会の事務局長、総務省関係団体（一財）地域活性化センターでの管理職経験を通じ、多くの自治体関係者との人脈も有する。「今、あるものを活かす」という観点で、トンネルの利活用のあり方を、地域に足を運んで情報発信し、その一環として10月に新著「鉄道廃線トンネルの世界」を発売。自治体・事業者と連携し、各地でトンネルツアーの講師も務めている。

## 2. 活動内容

- ・2020年11月 敦賀市「日本遺産シンポジウム」基調講演
- ・2021年4月 総務省地域力創造アドバイザー就任
- ・2021年10月「鉄道廃線トンネルの世界」（天夢人）出版
- ・トンネルツアー・観光人材育成講座・観光ガイド育成講座 講師
- ・地域の産業遺産・トンネルに関する執筆、メディアでの情報発信、講演
- ・着地型観光などの知見を活かした地域観光ゼミ（一財）地域活性化センターにて自治体からの研修生を対象に開催
- ・テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、ネットなど出演
- ・（一社）日本トンネル専門工事業協会における広報宣伝のサポート等

## 3. おすすめのトンネル活用事例

### ◆碓井峠「廃線ウォーク」（安中市観光機構）

信越本線横川～軽井沢間の新旧廃線区間で、自宅でも楽しめるVR動画をAIのキャラクターによる案内付で制作。イベントは鉄道ファン以外の若い女性やファミリーにも人気があり、休憩時に廃線路等で食べる名物「峠の釜めし」や、トンネル内の場内信号点灯等、若い企画担当者が自身の感覚とネットワークを生かし幅広い層に訴求している。



### ◆旧北陸線トンネル群（敦賀市など3市町）

敦賀～今庄間の明治の旧線トンネル11本などが県道、市道として現在も使用。豪雪地域にも拘らず保存状況が良く、福滋県境周辺3市町の観光連携協議会による広域連携が継続されており、ガイド育成やトンネルMapも作成。日本遺産認定ストーリーの構成文化財でもある。

## 4. 課題と展望

人口減少の影響で、廃線の増加が懸念される。

一方、少子高齢化による専門技術者の不足は日本のローカル線、土木業界全般に共通する課題となっている。また、高度成長期に造られたトンネルは経年しており、保守・点検は必須。トンネル利活用の事業の継続的な推進には“人財”が第一で、次世代後継者の育成も必要に思う。例えば、地域に親和性の高い大学との連携、ゼミ合宿などで現地を見てもらうことから始めるのも、次世代後継者の育成への一手だろう。また移住ブーム、コロナ禍のワーケーションなどの追い風を活用し、住まいの拠点を複数持つ人たちに、専任でなくとも関わってもらうなど、産官学民の連携が必要だと考える。

## 湊川隧道 20 年のあゆみ

年数	年度	月日	内容
	平成 13 年度 (2001 年)	7 月 7 日	湊川隧道保存友の会発足
		11 月 18 日	「土木の日新湊川ウォーク」
		3 月 23 日	湊川隧道保存友の会会報「天長地久」発行開始
1	平成 14 年度 (2002 年)	11 月 4 日	新湊川改修事業竣工記念見学会 ～初めての湊川隧道一般公開～
3	平成 16 年度 (2004 年)		レンガを販売し友の会の活動資金を調達
5	平成 18 年度 (2006 年)		県が友の会に委託し定期一般公開を開始(1, 2 月を除く年 10 回)
6	平成 19 年度 (2007 年)	9 月 15 日	一般公開時にミニコンサート(尺八の演奏)を開始
7	平成 20 年度 (2008 年)	2 月	「手づくり郷土賞」(国土交通大臣)受賞
10	平成 23 年度 (2011 年)	6 月 18 日	夢野中学校吹奏楽部がミニコンサートに初登場
		9 月 17, 18 日	湊川隧道一般公開 10 周年記念行事
		12 月 7 日	「兵庫県くすのき賞」受賞
		1 月 27 日	「土木学会選奨土木遺産」認定
11	平成 24 年度 (2012 年)	6, 10 月	年 2 回の草刈り及び清掃活動を開始
		1 月 15 日	1. 17 希望の灯り開始
12	平成 25 年度 (2013 年)	11 月 17 日	「土木の日」新湊川ウォーク～湊川隧道通り抜け～開始
13	平成 26 年度 (2014 年)	5 月 31 日	「ボランティア団体奨励賞」((一社)兵庫県測量設計業協会)受賞
14	平成 27 年度 (2015 年)	1 月 16 日	”地域の宝・湊川隧道”写真展覧会を開始
15	平成 28 年度 (2016 年)	2 月 18 日	ミニコンサート 100 回達成
		2 月 25 日	NHK「ブラタモリ」に登場
16	平成 29 年度 (2017 年)	4 月 28 日	神戸港開港 150 周年を記念し日本酒 1500 本を貯蔵
17	平成 30 年度 (2018 年)	3 月 29 日	国登録有形文化財に登録
18	令和元年度 (2019 年)	4 月 20 日	ミニコンサート来場者数 2 万人達成
			フォトコンテストの試行
19	令和 2 年度 (2020 年)	5 月 8 日	「湊川隧道の保存・活用に向けた連携と協力に関する協定書」を締結
		12 月 1 日	湊川隧道貯蔵酒「隧 ZUI」3 千本を販売開始
			フォトコンテストの本格実施
			コロナ禍の中で一般公開を継続(ミニコンサートは 7 月のみ実施)
20	令和 3 年度 (2021 年)	11 月 21 日	湊川隧道一般公開 20 周年記念「トンネルサミット in ひょうご」開催
		11 月 23 日	「土木の日」新湊川ウォーク～初逆行！湊川隧道通り抜け～開催



令和元年・令和2年度  
湊川隧道フォトコンテスト(主催 湊川隧道保存友の会)  
作品テーマ「地域の宝 湊川隧道」  
プリント部門・Instagram部門 入賞全26作品





湊川隧道

新湊川商店街



新湊川

夢野の丘小学校

マルシン市場

御神木

東山商店街

東山商店街  
ロータリー

川崎病院

ハートフル  
みなとがわ

荒田公園

兵庫消防署  
兵庫区役所

湊川中学校

湊川商店街

川の流りをイメージした  
意匠がシンプルでシュール

兵庫区役所  
地下通路

レトロ感満載の駅舎！  
神鉄横丁のフォントにも注目

神戸電鉄湊川駅

会下山小学校

湊川公園駅

大正13年から  
昭和43年まで  
このそばに  
東洋一の高さを誇る  
「神戸タワー」が  
あったことを記念

カリヨン時計塔

市営地下鉄山手線

パークタウン

湊川公園

ミナエタウン

バルシネマ

楠木正成銅像

新開地商店街

喜楽館

レトロ感がインパクト  
ええとこ新開地の山側入口

新開地1丁目  
アーケード

新開地駅

神戸高速鉄道（阪急・阪神・山陽・神鉄直結）

神戸アートブリッジセンター★